2026/7～2026/9

にっしん景況レポート

Vol. 42

2026/9



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、
2026年7～9月の景気の現状と2026年10～12月の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。
対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈 調査概要 〉

1. 調査対象期間 ： 2026 年 7 ～ 9 月の実績（9 月については予想）
   2026 年 10 ～ 12 月の見通し
2. 調 査 方 法 ： 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調 査 対 象 先 ： 当金庫営業エリア内の 358 社
4. 分 析 方 法 ： D.I.という指標を用いた分析。
   D.I.とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各質問項目について、「増加（良い、上昇）」とプラスの回答をした企業の割合（%）から、「減少（悪い、下降）」とマイナスの回答をした企業の割合（%）を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
   各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について ： 今　　期 ＝ 2026 年 7 ～ 9 月
   前　　期 ＝ 2026 年 4 ～ 6 月
   前年同期 ＝ 2025 年 7 ～ 9 月
   来　　期 ＝ 2026 年 10 ～ 12 月

6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	**150**	48	22	17	24	19	20
三木地区	**55**	18	11	5	8	9	4
神戸地区	**153**	24	24	17	39	26	23
業種合計	**358**	90	57	39	71	54	47

日新信用金庫
The Nisshin shinkin bank

概 況　　回答企業　358企業

今期の景況

今期（2026年7月～9月）は景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が▲5.6となり、前期（2026年4月～6月）に比べて3.6ポイント改善した。売上額判断D.I.は6.1となり、前期と比べて2.2ポイント改善した。収益判断D.I.は▲1.1となり、前期と比べて3.9ポイント改善した。

来期の見通し

来期（2026年10月～12月）の予想業況判断D.I.は▲0.3となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。

〈 回答数 〉

	良　い	やや良い	普　通	やや悪い	悪　い	合　計
回　答　数	9	68	184	87	10	358
回 答 割 合	2.5 %	19.0 %	51.4 %	24.3 %	2.8 %	100 %

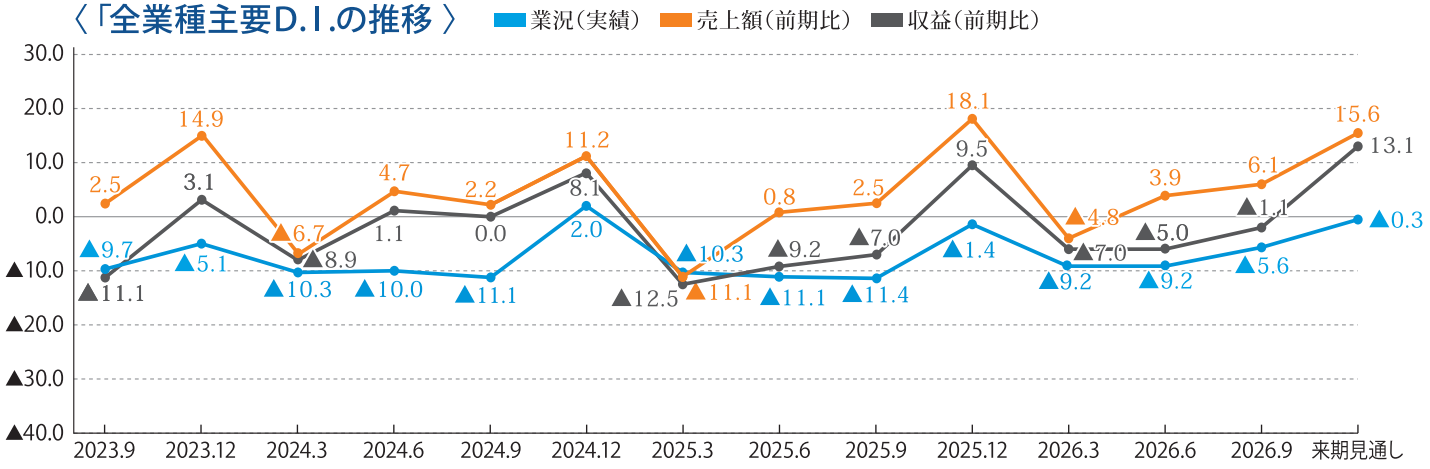
〈 2026年7～9月地区別業況判断D.I. 〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明 石 地 区	▲ 8.0	▲ 8.3	▲ 27.3	0.0	4.2	▲ 5.3	▲ 10.0
三 木 地 区	▲ 14.8	▲ 11.8	▲ 45.5	▲ 20.0	0.0	▲ 22.2	50.0
神 戸 地 区	0.0	4.2	▲ 4.2	▲ 23.5	▲ 12.8	23.1	13.0
全　地　区	▲ 5.6	▲ 5.6	▲ 21.1	▲ 12.8	▲ 5.6	5.6	6.4

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）		前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）
業　況（実　績）	▲ 9.2	▲ 5.6	▲ 0.3	販売価格（前期比）	29.6	28.8	29.3
売上額（前期比）	3.9	6.1	15.6	仕入価格（前期比）	65.4	62.6	55.3
売上額（前年同期比）	1.4	6.1	—	資金繰り（楽－苦）	▲ 8.4	▲ 8.7	▲ 7.5
収　益（前　期　比）	▲ 5.0	▲ 1.1	13.1	人手不足（過剰－不足）	▲ 31.6	▲ 30.7	▲ 38.0
収　益（前年同期比）	▲ 2.5	▲ 1.4	—				

〈「全業種主要D.I.の推移 〉



製造業　回答企業　90企業

今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲5.6となり、前期実績と比して6.5ポイント改善した。

売上額判断D.I.は1.1、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は2.2ポイント低下し、収益判断D.I.は8.8ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は10.0、収益判断D.I.の前年同期比は2.2となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は5.6となり、業況は上向くと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は28.9、予想収益判断D.I.は23.3となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈製造業主要D.I.〉

	前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）		前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）
業　況（実　績）	▲ 12.1	▲ 5.6	5.6	販売価格（前期比）	29.7	27.8	24.4
売上額（前期比）	3.3	1.1	28.9	仕入価格（前期比）	75.8	63.3	53.3
売上額（前年同期比）	3.3	10.0	―	資金繰り（楽－苦）	▲ 8.8	▲ 3.3	▲ 6.7
収　益（前　期　比）	▲ 8.8	0.0	23.3	人手不足（過剰－不足）	▲ 20.9	▲ 16.7	▲ 28.9
収　益（前年同期比）	▲ 3.3	2.2	―				

卸売業　回答企業　57企業

今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲21.1となり、前期実績と比して7.1ポイント低下した。

売上額判断D.I.は10.5、収益判断D.I.は▲10.5となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は3.5ポイント、収益判断D.I.は1.8ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は3.5、収益判断D.I.の前年同期比は▲15.8となり、昨年の同じ時期に比べ売上額は増加したものの収益は低下したと回答した企業の割合が多い結果となった。

来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲19.3と、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は8.8、予想収益判断D.I.は1.8となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈卸売業主要D.I.〉

	前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）		前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）
業　況（実　績）	▲ 14.0	▲ 21.1	▲ 19.3	販売価格（前期比）	52.6	45.6	42.1
売上額（前期比）	7.0	10.5	8.8	仕入価格（前期比）	71.9	68.4	61.4
売上額（前年同期比）	▲ 8.8	3.5	―	資金繰り（楽－苦）	▲ 7.0	▲ 14.0	▲ 17.5
収　益（前　期　比）	▲ 12.3	▲ 10.5	1.8	人手不足（過剰－不足）	▲ 24.6	▲ 24.6	▲ 33.3
収　益（前年同期比）	▲ 24.6	▲ 15.8	―				

小売業　回答企業　39企業

今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲12.8となり、前期実績と比して23.1ポイント改善した。

売上額判断D.I.は▲12.8、収益判断D.I.は▲20.5となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は2.5ポイント、収益判断D.I.は10.2ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲7.7、収益判断D.I.の前年同期比は▲23.1となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は低下したと回答した企業の割合が多い結果となった。

来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲12.8となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は12.8、予想収益判断D.I.は2.6となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈小売業主要D.I.〉

	前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）		前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）
業　況（実　績）	▲ 35.9	▲ 12.8	▲ 12.8	販売価格（前期比）	25.6	35.9	23.1
売上額（前期比）	▲ 10.3	▲ 12.8	12.8	仕入価格（前期比）	51.3	64.1	53.8
売上額（前年同期比）	▲ 17.9	▲ 7.7	―	資金繰り（楽－苦）	▲ 10.3	▲ 20.5	▲ 15.4
収　益（前　期　比）	▲ 10.3	▲ 20.5	2.6	人手不足（過剰－不足）	▲ 28.2	▲ 28.2	▲ 35.9
収　益（前年同期比）	▲ 12.8	▲ 23.1	―				

サービス業　回答企業　71企業

今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲5.6となり、前期実績と比して1.4ポイント改善した。

売上額判断D.I.は12.7、収益判断D.I.は7.0となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は1.4ポイント、収益判断D.I.は2.8ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は5.6、収益判断D.I.の前年同期比は4.2となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は2.8となり、業況は上向くと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は18.3、予想収益判断D.I.は22.5となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）		前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）
業　況（実　績）	▲ 7.0	▲ 5.6	2.8	販売価格（前期比）	28.2	26.8	32.4
売上額（前期比）	11.3	12.7	18.3	仕入価格（前期比）	70.4	62.0	56.3
売上額（前年同期比）	9.9	5.6	―	資金繰り（楽－苦）	▲ 21.1	▲ 18.3	▲ 9.9
収　益（前　期　比）	4.2	7.0	22.5	人手不足（過剰－不足）	▲ 42.3	▲ 50.7	▲ 54.9
収　益（前年同期比）	2.8	4.2	―				

建設業　回答企業　54企業

今期の景況

今期の業況判断D.I.は5.6となり、前期実績と比して5.6ポイント改善した。

売上額判断D.I.が9.3、収益判断D.I.が1.9となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は9.3ポイント、収益判断D.I.は1.9ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は0.0、収益判断D.I.の前年同期比は▲1.9となり、昨年の同じ時期に比べ売上額は変わらないものの、収益は低下したと回答した企業の割合が多い結果となった。

来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は7.4となり、業況は上向くと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は3.7、予想収益判断D.I.は7.4となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈建設業主要D.I.〉

	前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）		前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）
業　況（実　績）	0.0	5.6	7.4	販売価格（前期比）	15.1	22.2	27.8
売上額（前期比）	0.0	9.3	3.7	仕入価格（前期比）	64.2	68.5	61.1
売上額（前年同期比）	5.7	0.0	―	資金繰り（楽－苦）	0.0	0.0	1.9
収　益（前　期　比）	0.0	1.9	7.4	人手不足（過剰－不足）	▲ 52.8	▲ 42.6	▲ 46.3
収　益（前年同期比）	13.2	▲ 1.9	―				

不動産業　回答企業　47企業

今期の景況

今期の業況判断D.I.は6.4となり、前期実績と比して4.2ポイント低下した。

売上額判断D.I.は12.8、収益判断D.I.は8.5となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は6.4ポイント、収益判断D.I.は12.8ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は21.3、収益判断D.I.の前年同期比は19.1となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多かった。

来期の見通し

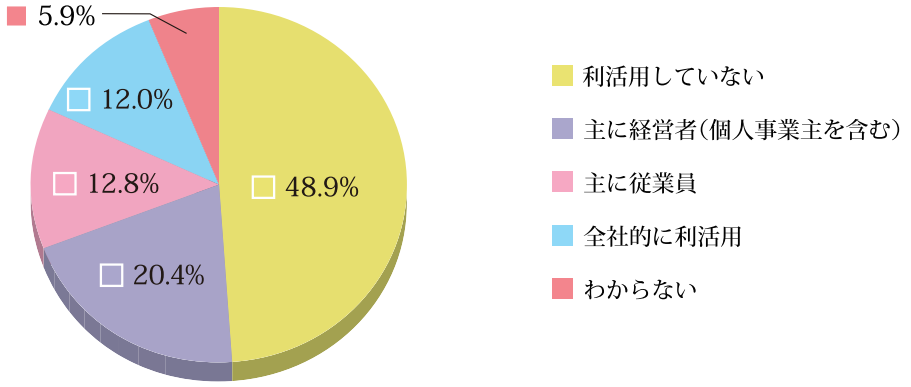
来期の予想業況判断D.I.は8.5となり、業況は上向くと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は10.6、予想収益判断D.I.は8.5となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈不動産業主要D.I.〉

	前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）		前期（実績）	今期（実績）	来期（見通し）
業　況（実　績）	10.6	6.4	8.5	販売価格（前期比）	23.4	14.9	25.5
売上額（前期比）	6.4	12.8	10.6	仕入価格（前期比）	42.6	46.8	44.7
売上額（前年同期比）	8.5	21.3	―	資金繰り（楽－苦）	2.1	2.1	2.1
収　益（前　期　比）	▲ 4.3	8.5	8.5	人手不足（過剰－不足）	▲ 23.4	▲ 23.4	▲ 27.7
収　益（前年同期比）	8.5	19.1	―				

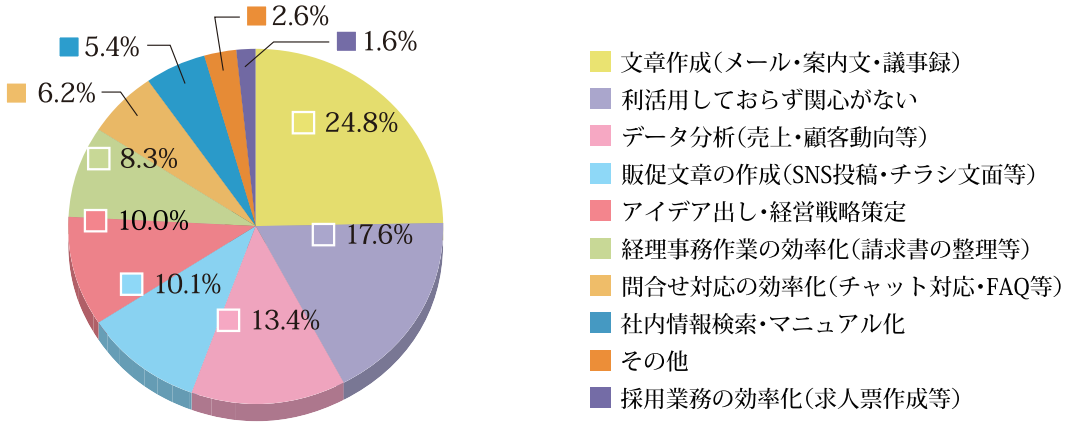
特別調査：「中小企業における生成ＡＩの利活用について」

～業務上で生成AI（ChatGPT、Gemini、Claude、DeepSeek等）を利活用していますか。利活用している場合は主にどのような人が使っていますか～



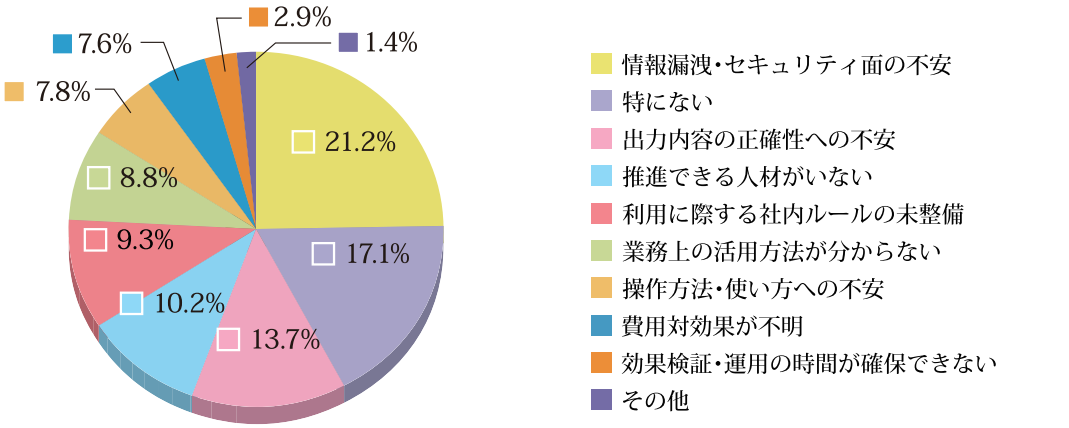
業務上で生成AIを利活用しているか、している場合は主にどのような人が使っているかについては、「利活用していない（48.9％）」の回答数が最も多く、次いで「主に経営者（個人事業主を含む）（20.4％）」となった。

～業務上で生成AIをどのような用途で利活用していますか。また、現時点で利活用していない場合は、どのような用途での利活用に関心がありますか～



業務上で生成AIをどのような用途で利活用しているか、また現時点で利活用していない場合は、どのような用途での利活用に関心があるかについては、「文章作成（メール・案内文・議事録）（24.8％）」の回答数が最も多く、次いで「利活用しておらず関心がない（17.6％）」となった。

～生成AIを業務で利活用する上で、課題となる点は何ですか。もし現時点で利活用していない場合は、その理由は何ですか～

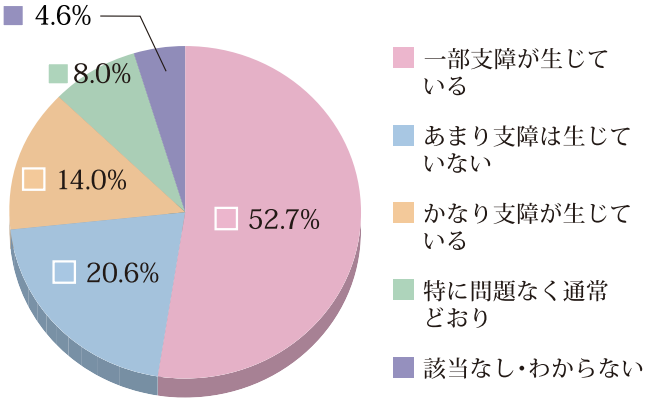


生成AIを業務で利活用する上で、課題となる点および、現時点で利活用していない場合は、その理由については、「情報漏洩・セキュリティ面の不安（21.2％）」の回答数が最も多く、次いで「特にない（17.1％）」となった。

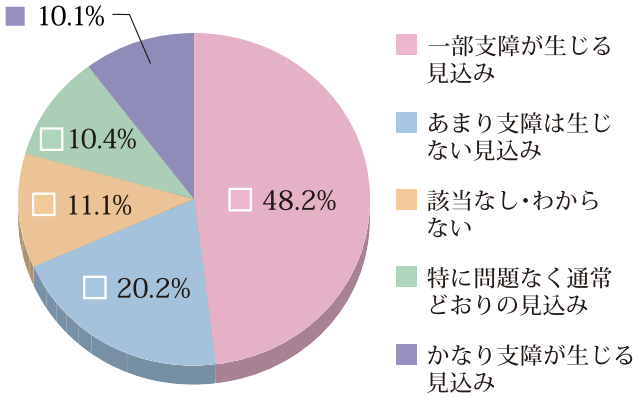
特別設問　中東情勢による影響

～2026年春以降の中東情勢の混迷等により、原材料や商品等の調達（仕入れ）に際して、欠品や納期遅れ等、価格面以外での支障が生じていますか。直近（6ヶ月程度）の状況および今後（6ヶ月程度）の見通しについてお答えください～

〈直　近〉



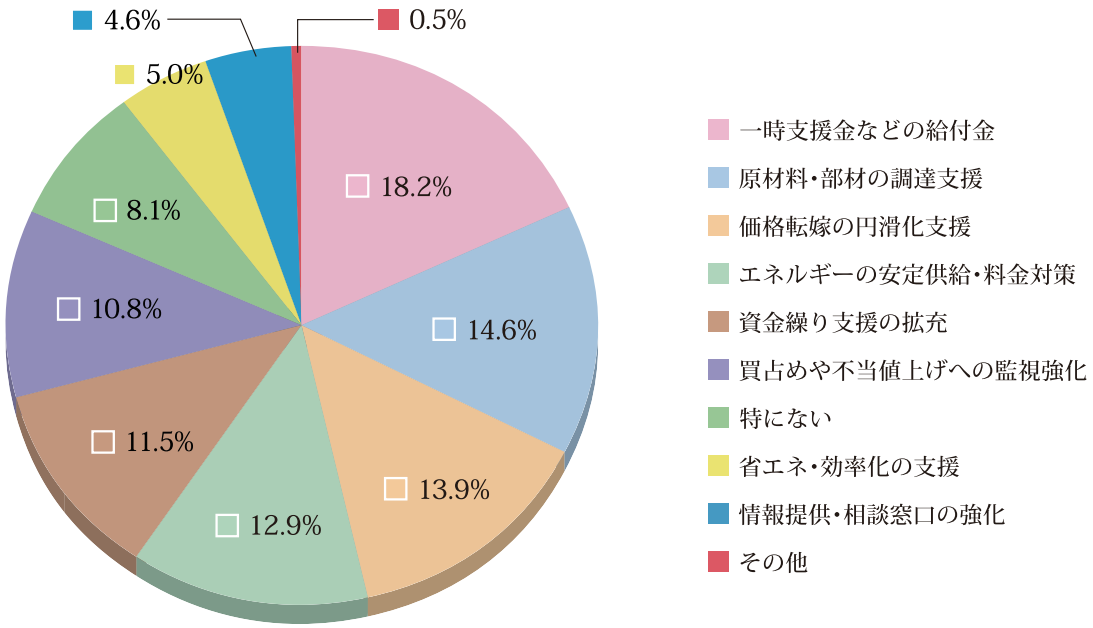
〈今　後〉



中東情勢の混迷等による直近の原材料や商品等の調達（仕入れ）状況については、「一部支障が生じている（52.7%）」の回答数が最も多く、次いで「あまり支障が生じていない（20.6%）」となった。

中東情勢の混迷等による今後の原材料や商品等の調達（仕入れ）見通しについては、「一部支障が生じる見込み（48.2%）」の回答数が最も多く、次いで「あまり支障が生じない見込み（20.2%）」となった。

～中東情勢の混迷等により、原油価格等の高騰や、原材料・商品等の調達が困難な状況が生じています。これを受けて、今後、行政に求める支援策は何ですか～



中東情勢の混迷等により、今後行政に求める支援策については、「一時支援金などの給付金（18.2%）」の回答数が最も多く、次いで「原材料・部材の調達支援（14.6%）」となった。

〈にっしん〉からのお知らせ

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、募集状況により受付を終了している場合がございます。

●「経営相談会」を実施します!

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点および中小企業基盤整備機構の専門スタッフが応じます。

●開催日時・会場：①令和８年11月26日(木) 13:00～16:30　日新信用金庫　宇治川支店
②令和９年１月21日(木) 13:00～16:30　明石商工会議所
●参 加 費：無　料
●定　　員：各日程3社

●「事業承継個別相談会」を実施します!

事業承継をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点と兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターの専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

●開催日時・会場：①令和８年10月15日(木) 13:00～17:15　日新信用金庫　西灘支店
②令和８年11月19日(木) 13:00～17:15　日新信用金庫　西明石支店
③令和８年12月10日(木) 13:00～17:15　日新信用金庫　神戸支店
●参 加 費：無　料
●定　　員：各日程3社



このたびは、第 42 回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。
調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

日新信用金庫
〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号
フリーダイヤル　イコー　ニッシンバンク
0120-15-2489
(受付時間)平日午前9時から午後5時まで

●当金庫の情報発信ツールとしてLINE及びインスタグラムの公式アカウントを発信しております。
当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、下記QRコードからお友だち追加及びフォローをお願いします。

LINE公式アカウント
@nisshin-shinkin

Instagram公式アカウント
nisshin.shinkin.official

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。